

くりはら高原地区畜産地域環境負荷軽減対策事業

築館町有機肥料センター 施設の概要



宮城県築館町

ごあいさつ

築館町は、ラムサール条約登録湿地の伊豆沼・内沼に代表される豊かな自然を後世に引き継ぐため、下水道等による生活環境の改善を重点施策として進めてまいりました。

今回、その施策の一つとして現在全国的に問題となっております畜産公害を未然に防止するため、くりはら高原地区畜産地域環境負荷軽減対策事業を導入し建設を進めておりました堆肥発酵処理施設が、この度完成し「築館町有機肥料センター」として操業を開始することになりました。

この有機肥料センターは、畜産農家から搬入されました厩肥を短期間に強制発酵し有機肥料に変える施設であります。施設から生産された有機肥料の多くは、畜産農家の草地還元や有機農産物生産農家の水田や畑において利用されることになります。さらに、その一部は袋詰め製品として家庭菜園や庭園、果樹への環境にやさしい有機肥料として販売をいたします。農家の皆さんはもとより多くの皆さんに愛される施設として利用されますことにご期待申し上げるものであります。

また、この有機肥料センターの完成は、本町が進めております生活環境の整備と畜産振興の中核施設として、有機肥料の活用による有機農業の推進と環境にやさしい農業、環境保全型農業の町づくりに大きく寄与するものと確信しております。これも、本事業導入にあたりご指導、ご援助をいただきました農林水産省東北農政局、宮城県をはじめ関係機関並びに関係者皆さんのお力によるものと心から感謝申し上げ、ご挨拶いたします。

平成12年6月2日

築館町長 千葉 徳 穂

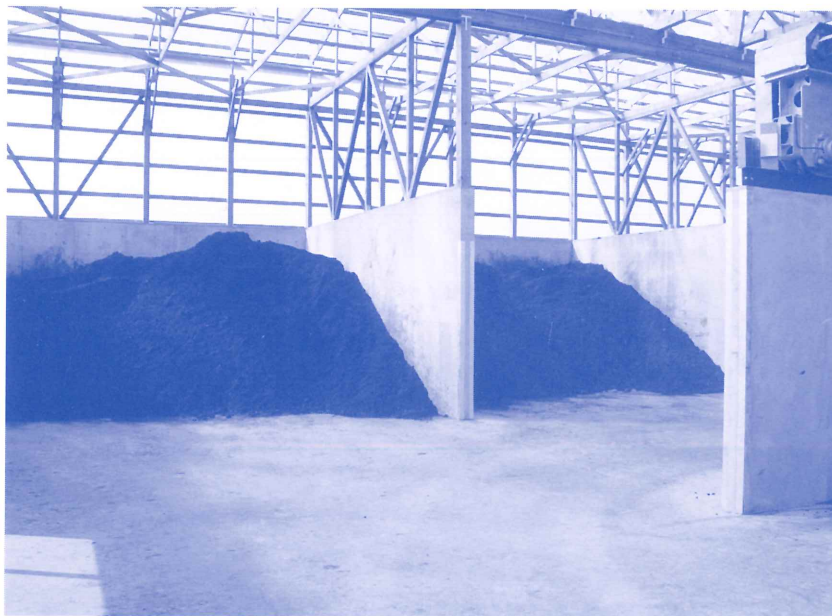
施設の概要

1. 施設名	築館町有機肥料センター		
2. 所在地	築館町字照越盲壇29番91		
3. 事業主体	社団法人 宮城県農業公社		
4. 事業名	くりはら高原地区畜産地域環境負荷軽減対策事業		
5. 工事概要	発酵処理施設	997.92m ²	
	発酵処理機械	スクープ式攪拌機	
	袋詰・製品保管庫	170.10m ²	
	製品袋詰機械	一 式	
	管理棟	43.74m ²	
	土壌脱臭装置	一 式 (170.0m ²)	
	原料置場・副資材置場	194.40m ²	
	消火ポンプ室	12.96m ²	
	付帯機械	自走式ローダー	1 台
		ホークリフト	1 台
		堆肥運搬車	2 台
		堆肥散布車	1 台
		バキュームカー	1 台
		温水洗浄機	1 基
	地下貯溜槽	160.0m ³	
	浄化水路	L = 156.0m	
	環境保全林植栽	341本 (サンゴ樹) 1.000m ²	
	取付道路整備	L = 520.0m	
	構内舗装	2.380.0m ²	
	敷地面積	9.423.0m ²	
6. 総事業費	総 事 業 費	367,084,400円	
	内 訳	国庫補助金	183,536,200円
		県補助金	59,961,500円
		一般財源	123,586,700円
7. 設計者	光陽建築設計事務所	代 表 者	穴 戸 昭 輔
8. 工事請負者	株式会社狩野工務店	代表取締役	狩 野 幸 司
	川股建設株式会社	代表取締役	川 股 義 雄
	新建設株式会社	代表取締役	遠 藤 敏 昭
	共和化工株式会社東北支店	支 店 長	大 内 康 滋
	土木地質株式会社	代表取締役	橋 本 良 忠

発酵槽及び
スcoop式攪拌機



養 生 槽



製品袋詰機械





原料・副資材置場

車 両 (左から)
バキュームカー
堆肥運搬車 (2 台)
堆肥散布車

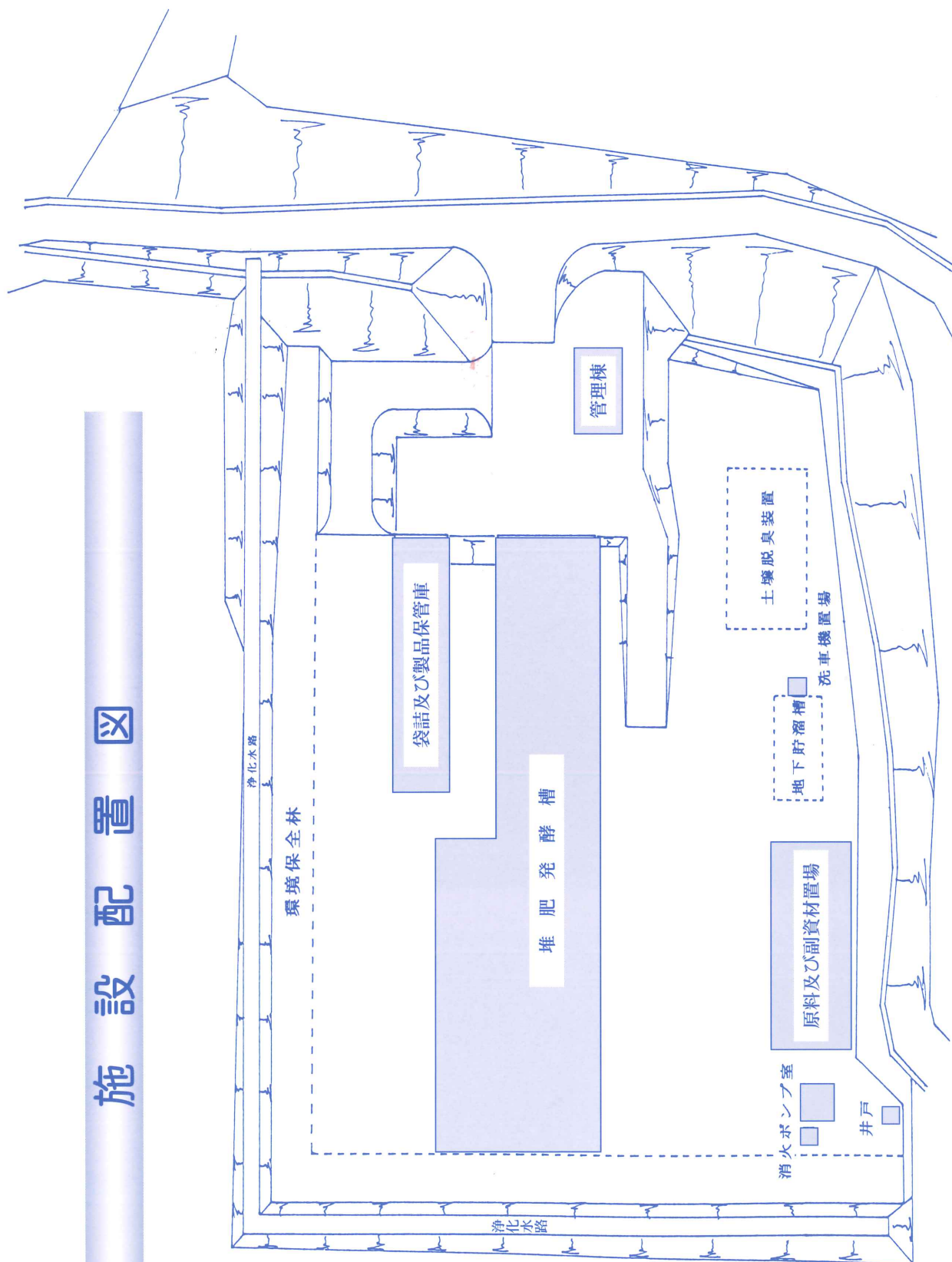


管 理 棟



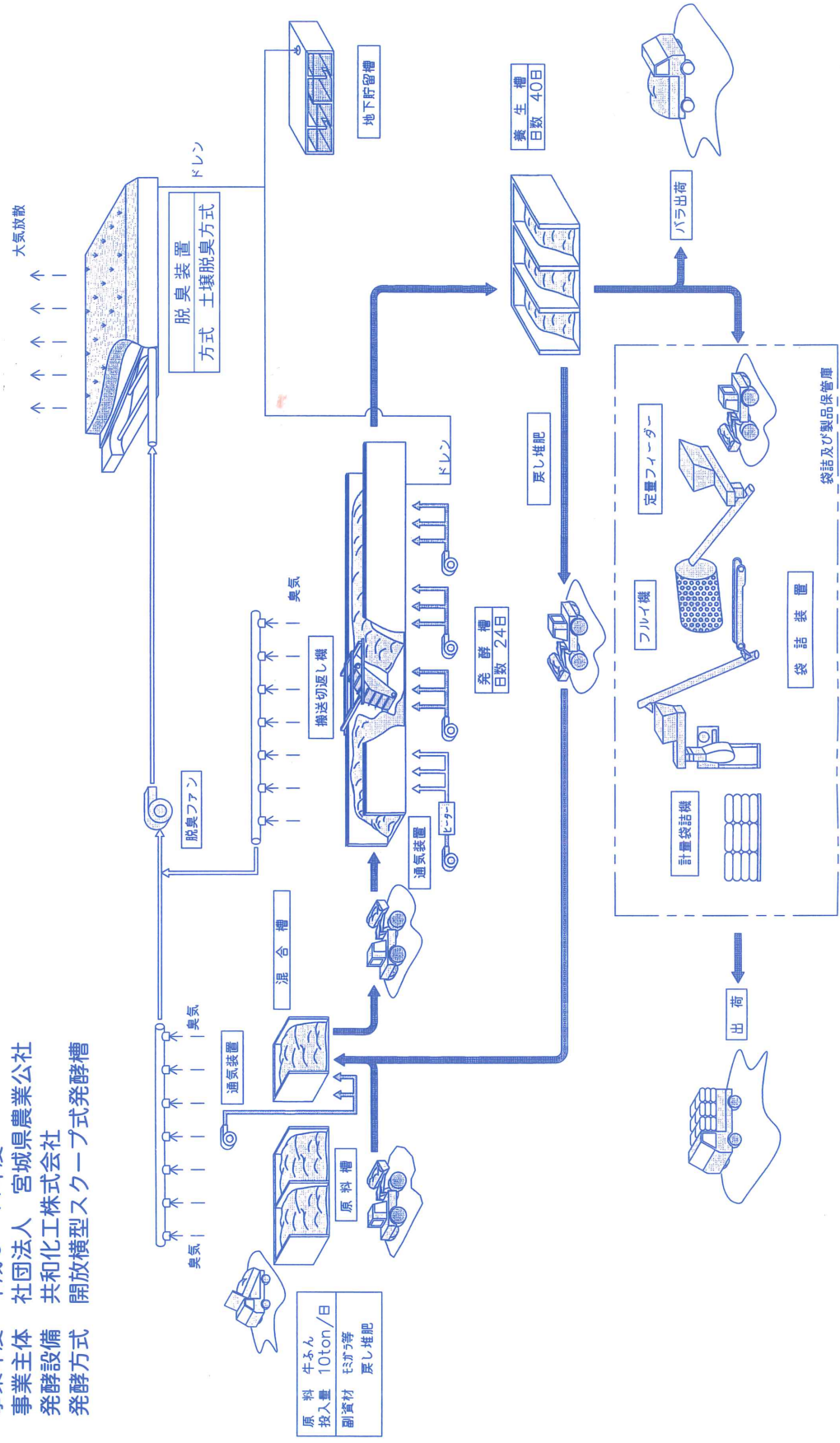
浄化水路及び
環境保全林

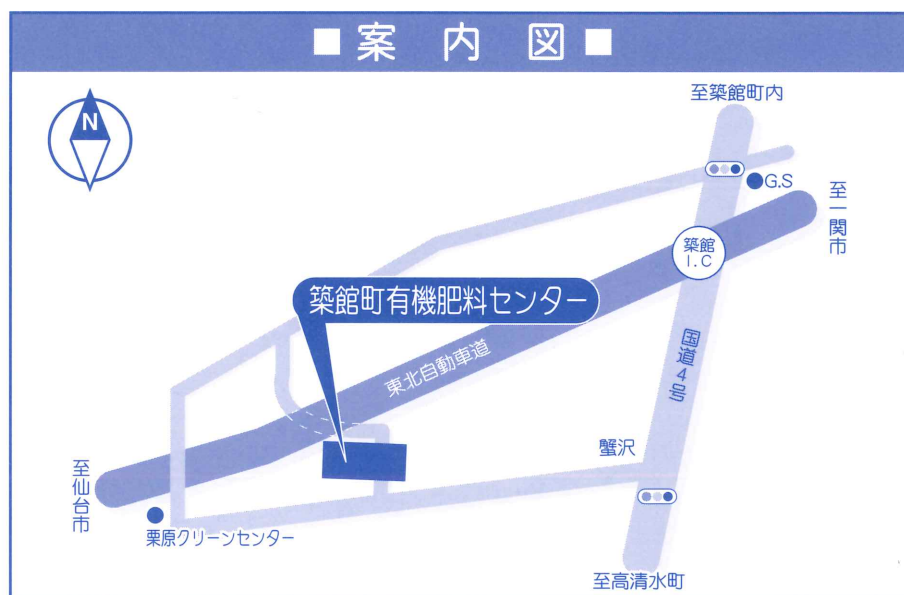
施設配置図



築館町有機肥料センター システムフロー

施設名 築館町有機肥料センター
事業年度 平成9～11年度
事業主体 社団法人 宮城農業公社
発酵設備 共和化工株式会社
発酵方式 開放構型スクープ式発酵槽





築 館 町 有 機 肥 料 セ ン タ ー

宮城県栗原郡築館町字照越盲壇29番91
〒987-2233 TEL 0228-23-8870 (FAX兼)

● お問合わせ先 ●

宮城県栗原郡築館町薬師一丁目7番1号
築館町産業振興課
〒987-2293 TEL 0228-22-1111
FAX 0228-22-6168